



あしょろ

No.209

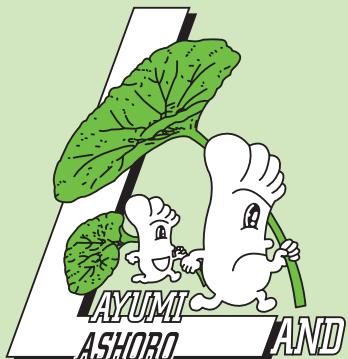
# 議会だより

2022.5

北海道足寄郡  
足寄町議会発行



認定こども園どんぐり卒園式（3月23日）



予算・条例等の審議内容

2～5ページ

一般質問（3議員が登壇）

6～8ページ

予算審査特別委員会

9ページ

委員会レポート

9～11ページ

議会の動きなど

12ページ

第1回定例会

令和4年度

一般会計  
予算

94億5,963万1千円

第1回定例会は3月8日から22日までの15日間の会期が決定され（9～14日、19～21日は休会）、初日は、議長の諸般の報告を受けた後、町長からの行政報告を受け、町長、教育長より行政執行方針について報告を受けました。次に、報告1件、人事13件、条例制定1件、条例改正5件、その他2件を審議し、原案のとおり可決、請願1件と意見書案1件を総務産業常任委員会に付託しました。

15日は、決議案（○シアによるウクライナ侵攻を非難し恒久平和を求める決議）1件を可決した後、総務産業、文教厚生常任委員会より所管事務調査についての報告を受け、次に3名の議員による一般質問（関連記事6～8頁）を行いました。

16日は、令和3年度補正予算の提案説明を受け、原案のとおり可決しました。その後、令和4年度予算の提案説明を受けた後、予算審査特別委員会（委員長・高橋秀樹、関連記事3～4頁）を設置しました。また、前日の一般質問において町長の答弁に誤りがあつたことから、追加議事日程において、修正された町長の答弁に基づいて一般質問を一部やり直しました。

17日は総務産業常任委員会に付託していた請願1件の審議結果の報告を受け、原案のとおり可決した後、休憩中に予算審査特別委員会が予算審議を行いました。

18日は意見書案1件を審議し、原案のとおり可決した後、休憩中に予算審査特別委員会が予算審議を行いました。その後、追加議事日程において予算審査特別委員会の審議結果の報告を受け、報告のとおり各会計の新年度予算を原案のとおり可決した後、総務産業・文教厚生常任委員会より所管事務調査期限の延長について、議会運営委員会・広報広聴委員会より提出があつた閉会中の継続審査申出を原案のとおり承認し、会期を3日残して18日に閉会しました。

5丁目）の再任に同意しました。  
◆農業委員会委員の任命  
3月31日任期満了となる農業委員会委員は農業委員会等の方の任命に同意しました。

・岡元義春さん  
(足寄町稻牛)  
・上妻良一さん  
(足寄町螺湾本町)  
・菊地隆志さん  
(足寄町上利別)  
・吉村進さん  
(足寄町大誉地)  
・遠藤勇さん  
(足寄町芽登)  
・吉川友二さん  
(足寄町茂喜登牛)

### 条例審議

◆オネトー野営場休憩舎設置及び管理に関する条例の制定について

オネトー野営場休憩舎の設置目的や所在地の他、管理に必要な条例を定めるもの

◆職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

非常勤職員の育児休業等の取得要件を緩和するもの

◆足寄町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

人事院勧告に基づき職員の給与の改定を行うもの。（期末手当の引き下げ）

◆足寄町土地開発基金条例の一部を改正する条例

基準の額を改正するもの。

◆足寄町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

3月31日に任期満了となる固定資産評価審査委員会委員について、大野雅司さん（西町

・宮口孝治さん  
(足寄町鷺府)  
・人見華代さん  
(足寄町上足寄)  
・石黒彰さん  
(足寄町愛冠)  
・松田博幸さん  
(足寄町郊南1丁目)  
・遠國和宏さん  
(足寄町平和)  
・餌取靖徳さん  
(足寄町愛冠)

### 人 事

# 報 告

◆予定価格1千万円以上の工事又は製造の請負契約締結議会総合条例の規定により議会に報告するもの。

## 予算審議

3月16日に提案された一般会計など10会計の令和3年度補正予算は、同日審議し、原案のとおり可決しました。

一般会計など10会計の令和4年度予算は、議長を除く12名の委員で構成する予算審査特別委員会（委員長・高橋秀樹）で審議し、3月18日の本会議で原案のとおり可決しました。

主な事業等は次のとおりです。

### 【新年度予算】

- 平和生活改善センター改修工事 417万5千円
- ふるさと納税謝礼 3400万円
- 市街地コミュニティバス運行管理業務

・ 移住等サポート業務	843万7千円	・ 住環境・店舗等整備補助金	564万7千円	・ まちづくり活動支援補助金	4750万円	・ 結婚新生活支援事業補助金	210万円	・ ふるさと納税返礼品開発支援補助金	100万円	・ クラウドシステム使用料	6340万4千円	・ 再生可能エネルギー導入計画策定業務	990万円	・ 戸籍総合システム改修業務	572万円	・ 北海道知事北海道議會議員選挙費	865万2千円	・ 障害者地域生活支援センター管理運営業務	2248万7千円	・ 障害者地域生活支援拠点施設外構工事	1586万2千円	・ 足寄町社会福祉協議会補助金	3643万6千円	・ 障害者自立支援給付費	3億1834万8千円
-------------	---------	----------------	---------	----------------	--------	----------------	-------	--------------------	-------	---------------	----------	---------------------	-------	----------------	-------	-------------------	---------	-----------------------	----------	---------------------	----------	-----------------	----------	--------------	------------

### 令和4年度 各会計の当初予算額

(単位:千円)

会計別	歳入歳出予算額		前年度増減(%)
	令和3年度	令和4年度	
一般会計	9,271,824	9,459,631	2.0
特別会計	国民健康保険事業	929,179	△ 5.0
	簡易水道	49,768	△ 10.2
	公共下水道事業	471,025	7.0
	介護保険	907,423	△ 6.3
	介護サービス事業	325,159	2.7
	後期高齢者医療	138,137	3.0
	資源ごみ処理等事業	71,421	8.1
上水道事業会計	247,881	266,500	7.5
国保病院事業会計	1,386,434	1,370,485	△ 1.1
総合計	13,798,251	13,931,738	1.0

・ 介護療養型老人保健施設経営安定資金補助金	1827万4千円	・ 介護人材確保対策事業	882万1千円
・ 介護者負担金無償化事業	2175万6千円	・ 保護者負担金無償化事業	2062万5千円
・ 療養給付費負担金	1742万3千円	・ 軽費老人ホーム経営安定資金補助金	800万円
・ まちづくり活動支援補助金	150万円	・ 高齢者等複合施設管理運営業務	4274万9千円
・ 結婚新生活支援事業補助金	210万円	・ 工事	64万7千円
・ ふるさと納税返礼品開発支援補助金	100万円	・ 上利別保育所空調設備整備工事	4274万9千円
・ ふるさと足寄応援基金積立金	5000万円	・ ワクチン接種事業	3902万3千円
・ クラウドシステム使用料	6340万4千円	・ 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業	784万1千円
・ 再生可能エネルギー導入計画策定業務	990万円	・ 足寄町営温泉浴場新築事業	323万4千円
・ 戸籍総合システム改修業務	572万円	・ 火葬炉設備修繕工事	590万円
・ 北海道知事北海道議會議員選挙費	865万2千円	・ 一般廃棄物収集運搬業務	3902万3千円
・ 障害者地域生活支援センター管理運営業務	2248万7千円	・ 足寄町営温泉浴場新築事業	2956万4千円
・ 障害者地域生活支援拠点施設外構工事	1586万2千円	・ 十勝圏複合事務組合じん芥負担金	2956万4千円
・ 足寄町社会福祉協議会補助金	3643万6千円	・ し尿収集運搬業務	1299万1千円
・ 畜産振興資金貸付金	5億580万円	・ 国民健康保険病院対策費置事業補助金	5186万7千円
・ 道営足寄地区農地整備(担い手育成型)事業負担金	1億円	・ 防衛施設周辺農業用施設設置事業補助金	5億580万円

・道営中足寄地区及び西足寄地区水利施設等保全高度化事業（営農用水）	1億3341万1千円	・あしょろ観光協会補助金	500万円
・営農用水道計装装置更新工事	1558万7千円	・地籍調査事業	950万円
・中山間地域等直接支払交付金	2億94万3千円	・町道応急補修工事	6445万4千円
・多面的機能支払交付金	4643万9千円	・町道舗装補修工事	3000万円
・森林環境推進事業補助金	3151万円	・街路灯等整備工事	5996万1千円
・森林環境譲与税基金積立金	3403万6千円	・イヤシヨベル購入	1171万9千円
・森林整備事業	5403万6千円	・橋梁長寿命化修繕事業	649万円
・水源林造林事業	8862万2千円	・道路ストック修繕事業	1億6018万2千円
・足寄町商工会補助金	2230万2千円	・常備消防管理経費	4610万1千円
・産業振興事業補助金	4000万円	・里見が丘公園整備事業	7171万9千円
・中小企業特別融資貸付金	1億9000万円	・足寄町学習塾管理運営業務	2億7011万2千円
・商工振興対策経費（新型コロナウイルス対応）	5430万円	・学校給食費無償化事業補助	4400万円
・雌阿寒温泉公衆トイレ等水道施設改修工事	1996万5千円	・施設介護サービス給付費	1114万1千円
・足寄ふるさと盆踊り・両国花火大会実行委員会等補助	5414万5千円	（進藤議員質疑あり）	△6353万3千円

・スクールバス購入	1050万2千円	・べき地小学校保健室空調設備整備工事	258万8千円
・足寄ふるさと盆踊り・両国花火大会実行委員会等補助	1996万5千円	・タブレットパソコン（小学校）	561万5千円
・足寄高校生海外研修派遣事業	5414万5千円	・螺湾小学校外部改修工事	6815万2千円
・畜産振興資金貸付金（熊澤議員質疑あり）	△5337万6千円	・パソコン一式（中学校）	648万8千円
〔補正予算〕	〔一般会計〕	・タブレットパソコン（中学校）	234万8千円
〔介護保険特別会計〕	金 3069万3千円	・博物館施設管理運営業務	4400万円
◆ロシアによるウクライナ侵攻を非難し恒久平和を求める決議	金 3069万3千円	・足寄町学習塾管理運営業務	2億7011万2千円
・足寄高等学校通学費等補助	870万8千円	・学校給食費無償化事業補助	1114万1千円
・足寄高校生海外研修派遣事業	3663万円	・施設介護サービス給付費	△6353万3千円

## 令和3年度 各会計別補正額

(令和4年3月16日現在) (単位:千円)

会計別	補正額	総額
一般会計	△ 203,347	9,576,907
国民健康保険事業	5,484	939,077
簡易水道	△ 5,608	45,975
公共下水道事業	△ 40,359	430,841
介護保険	△ 82,673	882,383
介護サービス事業	△ 17,552	297,245
後期高齢者医療	△ 1,525	135,469
資源ごみ処理等事業	△ 281	70,083
上水道事業会計	△ 5,940	241,941
国保病院事業会計	△ 39,543	1,297,504

### 【決議全文】

ロシアは2月24日、ウクライナへ軍事侵攻を開始した。

主権国家であるウクライナへの侵攻は武力行使を禁止する国際法の深刻な違反であり国連憲章の重大な違反である。

こうした力による一方的な行為は国際社会の平和と秩序を破壊するものであり、北方領土を有しロシアと国境を隣接する北海道の自治体である足寄町としても看過し得ない事態である。

また、プーチン大統領は核兵器の使用をほのめかし、チエルノブイリを含むウクライナ国内にある原子力発電所を武力制圧するなど、大量殺戮と放射能汚染を辞さない言動は断じて容認できない。

足寄町議会は、ロシアのこれら一連の行為を強く非難するとともに、一刻も早いロシア軍の攻撃停止とウクライナ撤退を求め、国際秩序の回復と世界の恒久平和実現を強く求めるものである。

以上決議する。

## その他

### ◆町道路線の認定について

足寄原野3号線、下足寄太2号支線及び中足寄奥足寄2号線を新たに町道として認定するもの

### ◆町道路線の変更について

中芽登1号線、大誉地市街通の位置の変更を行なうもの

## 請願

### ◆コロナ禍での消費拡大対策の強化に関する請願書

提出者 足寄町農民同盟  
執行委員長 伊藤 力

## 意見書

### ◆コロナ禍での消費拡大対策の強化に関する意見書

総務産業常任委員会  
委員長 高橋 秀樹

## 第1回 臨時会

1月14日開催  
新型コロナ対策関連  
予算を原案可決

- ◆一般会計補正予算  
・住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業  
1億2571万5千円  
(高道議員質疑あり)
- ・新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業  
290万4千円  
(木村議員、二川議員質疑あり)

1月14日に開催された第1回臨時会では、報告承認1件と補正予算案1件が提出され、原案のとおり承認、可決しました。

### 【専決処分の承認】

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4515万円を追加し、歳入歳出予算の総額を96億5066万1千円とするもの。

### ◆一般会計補正予算

子育て世帯臨時特別給付金事業 4515万円  
(川上議員質疑あり)

## 第2回 臨時会

2月24日開催  
債務負担行為補正などを可決

## 賛否状況等の公表

- ◆一般会計補正予算  
・足寄町議会総合条例の規定により、第1回臨時会、第2回臨時会、第1回定例会における出欠状況、議案等に対する議員個々の表决態度を公表します。
- ◆一般会計補正予算  
・第1回臨時会及び第2回臨時会、第1回定例会において欠席、遅参、早退する議員はいませんでした。
- ◆一般会計補正予算  
・また、提案された個々の議案については全議員賛成で原案どおり可決、承認、採択しています。



## コラム



和3年度補正予算の主な内容は債務負担行為の補正となりましたが、債務負担行為とはどんなものなのでしょうか。自治体は、予算に定めが無ければお金の支払いを約束すること（支出の原因となるべき契約その他の行為で、行政用語では支出負担行為といいます）ができないことになります。ができないことになります。その予算はその年度内で完結することが基本となります。

しかし、施設の警備や管理などで日を跨ぐものや24時間絶え間なく行うものなど新年度の4月1日の午前0時から業務を行う必要のあるものの委託業務や、複数の年度で継続していく補助事業など、本来禁じられている後の年度のお金の支払いを約束することが必要となる場合が生じます。その場合に予算の内容の一部として債務負担行為を議会で議決することで、後の年度のお金の支払いを約束する事が可能になり、継ぎ目のない事業実施が可能となります。

# 一般質問 3議員が登壇

一般質問の質問内容及び答弁内容は要約しております

## 畜産の振興について



川上修一 議員

3月4月といつても本当に期間のない中で牛乳券の配付が全町民にできるのか、牛乳券がすぐに消費につながるかどうか。町だけでなく、農協と一緒にやることで考えているので、十分に協議をしながら進めていきたい。

川上議員 今まで行つてきた

**川上議員** 新型コロナウイルス感染症の影響による需要減少で、学校給食が休みになる年度末に生乳廃棄のおそれが強まっている。加えて、飼料・燃料等の費用が高騰し、酪農は極めて厳しい。

中山間地が多い足寄町農業で、酪農は特に重要な役割を担つており、今まで以上に振兴を図つていい必要がある。

足寄町酪農の実態は10年前と比べ、どうなつてているのか。

**川上議員** 生乳の消費拡大は酪農家の気持ちを考えると一日でも早く実施すべき。牛乳券を全世界に配つて町内業者だけで使えるようすれば、町民の家計の助けになり町内業者のお店の売り上げ増につながると思うが。

**町長** (下表のとおり答弁)

について、町の対策は。

**川上議員** 生乳の消費拡大に

ついて、町の対策は。

**町長** 農協と、より効果的な対策を協議をしている。本年4月以降に生乳の消費拡大に

と連携して行う予定。

**町長** 実施の時期をなるべく早くというのは理解するが、

畜産振興資金は、優良家畜の導入や規模拡大及び新規就農における優良牛の導入、さらに家畜伝染病発生による防疫対策に係る施設整備や、経営の回復を図るために家畜導入の支援などを行つておらず、平成29年度には3千万円から1億円に増額し、近年の多様化する畜産情勢の変化に対応するため、支援の拡大を含めた経営安定と向上が図られており、町内畜産振興において一定以上の効果があり、今後も継続する。

**川上議員** 畜産振興資金は、大規模草地育成牧場の導入が主で、牛の増頭というのは今非常に難しく、使い道が限られる想像する。使用基準を拡大し、資金を有効に使つていただきたい。

**経済課長** 必要があれば農協と協議したい。

ます。

**川上議員** 畜産振興資金は牛の導入が主で、牛の増頭というのは今非常に難しく、使い道が限られる想像する。使用基準を拡大し、資金を有効に使つていただきたい。

**川上議員** 畜産振興資金は牛の導入が主で、牛の増頭というのは今非常に難しく、使い道が限られる想像する。使用基準を拡大し、資金を有効に使つていただきたい。

今年は、妊娠した牛は新生牛舎に移して栄養価の高いものを与えている。

**川上議員** そこまで牛舎、餌のやり方による差が顕著であれば一年でも早く整備できなければ。

### 足寄町酪農の実態

	平成22年	令和2年	比較
酪農家戸数	95戸	81戸	△14戸
総飼養頭数	9,084頭	8,770頭	△314頭
総乳量	45,601トン	43,278トン	△2,323トン
一戸あたり飼養頭数(約)	96頭	108頭	12頭
一戸あたり草地面積(約)	49ha	58ha	9ha

の導入や規模拡大及び新規就農における優良牛の導入、さらに家畜伝染病発生による防疫対策に係る施設整備や、経営の回復を図るために家畜導入の支援などを実施しており、まさに畜産振興資金は、牛舎の更新に向けて協議中のことだが、どの程度までと話が進んでいるか。

**経済課長** 今年度管理計画を上げる。ただ、実施の時期については確定していないが、早い段階で実施ができるよう進めたい。

**川上議員** 農家から冬預けた牛は生育不良で、古い牛舎と新しい牛舎とでは成長に大きな差があるという話を聞いている。この差の要因は何か。

**川上議員** 牛が冬の間瘦せて帰つてくるということですが、令和2年度は冬期千二百頭と過密な状態で、古い牛舎はバンカーサイロに柵をして牛が自由に食べ、配合飼料も飼槽にまいて一斉に食べるので弱い牛は十分に食べることができず、新しい牛舎は、サイレージに配合飼料から何から全てを混ぜたものを与えているため成長に差が生じると感じています。

**川上議員** 農業後継者に対する足寄町農業後継者就農育成資金は、平成11年度以降58名に貸付けしており、農業用機械、資材等の導入、作業の効率化、経営の安定化が図られてきた。近年、後継者不足から貸付けは減少しているが、今後も継続していく。

新規就農者支援は、平成13年度以降21組が新規に就農され、令和5年1月にはさらに3名の就農を予定。高齢化による農家戸数の減少が続く中、地域の活性化の一翼においても継続していく。

**川上議員** 畜産振興資金は牛の導入が主で、牛の増頭といふのは今非常に難しく、使い道が限られる想像する。使用基準を拡大し、資金を有効に使つていただきたい。

**町長** 国や道に要請していき

## 特別養護老人ホーム施設

### 老朽化に伴う建て替えについて



榎原深雪議員

とにどのような提言がなされましたか。

町長 1点目について、現在、市街地内で施設建設が可能と想定される場所について調査をしていますが、施設規模等

に合わせて用地面積を検討する必要があることから、建設場所は未定となっています。

①特別養護老人ホームの建設場所の選定はどこになり、用地購入はいつ頃になる予定でしようか。

②施設の敷地面積、入所者の収容規模などはどういうふうにお考えですか。

③現在の入所待機者の人数は。また、御家族の要望などはどうのように把握されていますか。

④感染症などで直接的な面会が難しくなっていますが、現行施設も含めパソコン画像を通じた面会設備の整備などをお考えですか。

⑤建て替えに当たり、特養職員による検討では、部署ご

所中であることから、今後本人の状況を確認しながら入所手続を進めてまいります。また、御家族の要望については、福祉課地域包括支援センターや町内各居宅介護支援事業所からの情報提供のほか、毎週開催されている国民健康保険病院のカンファレンスにおいて、入所希望者の把握を行っております。

4点目について、現在は玄関ドア越しにワイヤレスインターфонを利用しての面会を実施しており、入所者の御家族からリモートによる面会についての要望がない状況ですが、御希望があれば対応できる通信環境を整えております。

新施設におきましても、遠方の御家族が入所者と交流できる体制整備を検討していくことがあります。

設面積につきましては、入所定員やサービス提供方法により必要面積が算出されるため、現段階では未定となっております。

3点目について、入所待機者は、令和4年3月14日現在で5人となっておりますが、

認知症高齢者の重度化に対応できる見守りしやすい構造、事故防止に対応できる施設構

活空間の整備、車椅子や寝たきりの方が来所者と触れ合える空間づくり、感染対策に配慮した設計配置等が挙げられています。



榎原議員

地域密着型の可否について、どのように検討されましたか。

福祉課長

地域密着型についでは町民中心の施設となります。

町長 足寄町にとつてどんな施設が一番いいのか、どんな

施設が町民に望まれているのか、十分に検討しながら進めたいことをいたい。時期的に遅くなっていることによって、いろいろな問題も出てくるというよう

思いますので、検討を進めながら早い時期に建設できるよう努力していきたい。

ら良いのではないかと検討しております。

榎原議員 今後も特別養護老人ホームの役割は重要な

と思います。現在入所されている方、また高齢化してこれから入所するかもしれない町民の皆様からしますと、特別養護老人ホームの建て替えは1年でも早くに実現してほしい、大きな期待を寄せている事業であります。このたび新しく建設されますと、50年近くは稼働する施設でもあります。足寄町において、介護度の高い方や低所得の高齢者の終の棲家としての役割として、利用者の立場に立った質の高い介護サービスが提供できる施設の実現に期待し、少しでも早く建設に取りかかっていただきたい。

3点目について、入所待機者は、令和4年3月14日現在で5人となっておりますが、

## 足寄町のSDGs（持続可能な開発目標）

### の取り組みについて



高橋 健一 議員

スマート農業を開始しました。足寄町も、未来の子供たちが持続的に住み続けることがで

きるための町づくりが必要です。

**高橋議員** SDGsは、2015年の国連総会で採択された2030年までに世界が達成すべき目標を立てた道しるべです。この決定を受け、地方自治体もSDGsは地方創生の理念に一致することから、SDGsの取り組みを加速させています。隣町、上士幌町はバイオガス発電によるエネルギーの地産地消、次世代高度技術を利用した街づくりなど、先駆的な取り組みが評価され、2021年SDGs未来都市に選定されました。また、鹿追町も鹿追型ゼロカーボンシティ宣言を発し、電力の地産地消に取り組み、さら

にゼロカーボンシティ宣言を表明しました。令和4年度国の補助事業を活用し再生可能エネルギー導入目標を設定しています。具体的には、現在の工エネルギー使用を見える化し、省エネや化石燃料から木質ペレットやチップを燃料とする木質ボイラの導入及び温泉熱やヒートポンプによる熱利用の置き換え、太陽光発電やバイオガスプラント等による再生可能電力の導入、更には、森林整備による二酸化炭素吸収量の増進などを想定しています。足寄町のスマート農業に関しては、一部の農業者が作業機にGPSを取り付け農作業の省力化を図つて、ICT、AIを駆使して、

## 教育行政執行方針における ネイパル足寄との連携について

**高橋議員** 教育長は教育行政執行方針の中で、「ネイパル足寄とは今後も連携を図ってい」とおっしゃっていますが、どのようにかかわっていくのか。2月の始めてにネイパルを訪れたときに、職員の方から、「長い間お世話になりました。指定管理者が変わったので、解雇通知を受けました。」とあいさつを受けました。何が起こったのかさっぱり分かりませんでした。北海道に6つあるネイパルのうち5つの指定管理者が突然変わったということでした。その後、新聞報道で、道教委の課長が自分の天下り先を確保するため、恣意的に指定管理を変

えるという不正が発覚しました。これで元に戻るかと思いましたが、再選考の結果は「残念ながら再落選。ネイパル足寄困惑」（北海道新聞）でした。不思議なのは、ネイパル足寄は、職員さんたちは素晴らしい人たちばかり、今まで教育委員会とも連携して、青少年の育成のために努力していました。そして6つのネイパルの中でも最高の評価を受けています。それなのにならぬかと思いつています。

**高橋議員** 観光協会から「平クゴルフ場も足寄町の物です。ネイパルの敷地も足寄町のものですが、道教委から足寄町や教育委員会に何か説明がありませんでしたか。

いるほか、搾乳口ボットを導入してICタグによる牛の個体管理を行うなどICTを活用しています。しかし、中山間地で狭小地の圃場が多い足

寄町では、技術的に費用対効果の面からも普及にはもう少し時間がかかると考えています。

個人的には、道教委から地元にも、管理運営者にも、しきるべき説明があつてもいいのではないかと思つています。

しかし、あくまでも公正、公平、客観的に行われた入札であれば、お互い、理解と納得するしかないと思っています。

**町長** 所在地の地元町としては、今まで観光協会がやっていましたが、なんだかよくわからないいううちに違う業者さんに代わってしまったというのはどうなのかと思いますが、新しい業者さんに罪があるわけではありません。今まで通りの協力はしていかなければならぬと思つています。

高橋議員 観光協会から「平クゴルフ場も足寄町の物です。ネイパルの敷地も足寄町のものですが、道教委から足寄町や教育委員会に何か説明がありませんでしたか。

# 予算審査特別委員会より

3月16日、17日、18日に開催された予算審査特別委員会（委員長・高橋秀樹）では、活発な質疑が行われました。発言者と質問の概要をお知らせいたします。

**田利委員** 障害者地域生活支援センターの入居見込みについて  
**井脇委員** 敬老会開催費交付金について  
**榎原委員** 敬老会開催費交付金について

**田利委員** 緊急通報装置設置  
**二川委員** 管理通報受信業務について  
**二川委員** 介護人材確保対策事業の利用実績について  
**田利委員** 児童手当の独自支給の可否について  
**進藤委員** 地域おこし協力隊について  
**二川委員** 移住促進事業の実績について  
**高道委員** 空き家対策について  
**川上委員** 地球温暖化対策事業の委託の必要性について  
**田利委員** 地球温暖化対策事業とまちづくりとの関連について  
**二川委員** 高性能アンテナ接続補修費補助金について  
**○民生費**  
**高橋健一委員** 成年後見人制度について

**田利健一委員** 民有林造林事業について  
**木村委員** 町有林造林事業について  
**○商工費**  
**川上委員** 産業振興事業補助金の利用実績について  
**二川委員** 事業継続緊急支援金について  
**○教育費**  
**川上委員** 足寄高校生支援の実績について  
**川上委員** 学校でのパソコン授業の状況について  
**○歳出総括**  
**熊澤委員** 畜産振興資金貸付金の利用実績について  
**木村委員** 農業振興について  
**○町税**  
**川上委員** 固定資産税について  
**○歳入総括**  
**井脇委員** 不動産売払収入について

**【公共下水道事業特別会計】**

**下水道事業**

9 (79・9)、穂数785 (763)、穂長9・3 (9・

度について

木村委員 農業委員会費について

**熊澤委員** イチゴの生産状況について

**木村委員** 農業委員会費について

**川上委員** 公営企業法適用化支援業務について

10月12日より開始され、12月

下旬までに終了している。

豆類は、6月の好天で草丈・

## 委員会レポート

# 農作物の生育・作況状況、町道の維持管理を調査

## 総務産業常任委員会

総務産業常任委員会（委員長・高橋秀樹）は農作物の生育状況、道路の維持管理について調査報告しました。

2) となつた。

6月の開花期以降好天が続いたことと夜温が高かつたことで子実が太り、収穫作業は

昨年より1日早く7月25日になりました。8月5日に収穫を終えた。製品調整した結果、平均歩留まりは全体平均で90%、製品反収は一般麦で9・5俵と昨年（8・46俵）を上回った。

## 農作物の生育・作況状況について

調査日 令和3年7月28日・11月24日、令和4年2月24日  
**調査個所** 郊南地区、平和地区、稲牛地区、愛冠地区、大誉地地区、上利別地区、塩幌地区、愛冠地区、常盤地区

### 調査結果

#### 本年度の農作物の生育状況

として、麦は冬期間の積雪不足により凍上被害が散見され

たが、3月は高温で推移した

ことで融雪が早く、冬から春

先にかけての成長期も早まり、

7月15日作況値では稈長77・

面積が481・1haとほぼ横

ばいで、は種・出芽とともに平

年並み、糖分については平均

16・1%とやや低調となつた。

搬送は降雨により2日遅れの

10月12日より開始され、12月

下旬までに終了している。

豆類は、6月の好天で草丈・

てん菜は、今年度の作付け面積が481・1haとほぼ横ばいで、は種・出芽とともに平年並み、糖分については平均16・1%とやや低調となつた。搬送は降雨により2日遅れの10月12日より開始され、12月下旬までに終了している。

豆類は、6月の好天で草丈・

足寄町議会ホームページ <https://www.town.ashoro.hokkaido.jp/gikai/>

葉数とともに平年を上回つてい

たが、7月の干ばつによつて豆類全体で小粒傾向となつた。

小豆は干ばつによる小粒傾向に加え、鹿による食害が発生している。収穫作業は天候不順により遅延した。金時は、生育期の干ばつと成熟期の降雨により枯れ上がりが遅延した。手亡については金時と同様となつてゐる。

じやがいもは、育成期である夏場の高温・干ばつの影響が懸念されたが、根腐れ等は抑制され豊作となつた。収穫期の降雨もあつたが順調に収穫作業を終え、干ばつの影響で1玉あたりの平均重量は軽いものの、1株あたりの玉数が多く平均反収は平年を上回り、総収穫高は6472トンとなつた。

今年度も、交付金作物やじやがいも以外の豆類について新型コロナウイルス感染症の影響により消費は停滞しているものの、全道的な作付け減により相場は順調に推移している。

次年度に向け適期防除はもちろん、関係機関団体による農業技術指導の徹底を図つて

いただきたい。

次年度においても農産物の価格がコロナウイルス感染症の影響を受ける可能性があり、当委員会としても注視していただきたい。

また、てん菜については、北糖本別製糖所での砂糖生産が令和5年3月で終了するこ

とが決まり、今後の作付け減少などの影響が懸念されるが、本町の主要作物であると同時に輪作体系の重要な位置を占める作物でもあり、継続的に受け入れ先の確保なども含め、当委員会として今後も注視していく。

調査結果	調査日	令和3年8月26日、令和4年2月24日、3月8日
------	-----	--------------------------

## 維持管理について

多数生じたとのことだが、全体としては迅速で丁寧な対応がされていた。その他の排雪作業、路面整正、拡幅、塩化カルシウム・焼砂散布は本年度の除雪計畫に基づき概ね良好に執行されている。



作況状況の説明を受ける委員

町道の状況について、平和稲牛線から螺湾上足寄線まで令和3年8月26日に現地調査を実施した。路肩の草刈り状況は良好で、道路整備は総合計画に準じて計画的に行われている。

町道の除排雪状況については、全員での現地調査予定日の直前に足寄町内で複数の新型コロナウイルス感染者が発生・急増したため、感染症予防の観点から参集しての調査を断念し、委員各自での調査としてその結果を集約した。

本年度の出動回数は新雪除雪が2日間、排雪が9日間で、新雪除去の基準は10cmあるが、1月11日は全道的な大雪となり足寄町内でも40cmほどの積雪があった。短時間で大量の降雪となつたため、未明に除雪した道路が朝には再び雪で埋まつていたということもあり、町民からの問い合わせが

简易な補修工事はその都度建設課車両室が直営で行つているが、大掛かりな工事は国や道の補助金も無く、1年で着手できる箇所が限られており、国や道の補助制度整備に向けて要望を行うなど、中長期的な財源確保に向けた取り組みが望まれる。

# 児童生徒の熱中症対策のため 各教室にエアコン設置が必要

## 文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会（委員長・高道洋子）は学校の管理運営について調査報告しました。

### 調査日

令和3年7月15日、10月15日、  
12月13日、令和4年2月2日、24日

### 調査目的

新型コロナウイルス感染症の対応に、今もなお警戒が必要な状況下において、学校における感染症対策、及び全国で急速に進められているGIGAスクール構想における取組状況について調査する。

### 調査結果

#### ①新型コロナウイルス感染症対策について

各学校それぞれアルコール消毒液やデジタル体温計の配置など、しっかりととした感染症対策を講じていて思われる。現在もなおコロナ禍の中には、児童・生徒を守るために、大型の液晶ディスプレイを使用しならぬよう

な取り組みもされている。また、複式学級においては、ソーシャルディスタンスをとるため、クラスを分けて授業を行つたり音楽などは体育館など広い場所を活用したりするなど教職員の工夫が感じられた。

②熱中症対策について

足寄小学校には、保健室、職員室、校長室、また足寄中学校には、保健室、特別教室、職員室にエアコンが設置されているが、へき地校へは現在のところ設置はされていない。へき地校では令和4年度において保健室に設置される予定であると確認したが、昨今の地球温暖化による教室の気温上昇は、30度を超える高温の日も増加傾向にあり、扇風機や大型扇風機の使用では対策が困難と考える。各学校においては、長期休業期間の設定

を見直す等の取り組みを行うようではあるが児童・生徒の熱中症対策のため、各教室へのエアコン設置が必要であると考える。

また、熱中症対策のため児童に水筒持参を認める対応をされているところではあるが、直飲み型の水筒は衛生上懸念があり、コップタイプの水筒を使用するような対応が必要と考える。

#### ③GIGAスクール構想の現状と課題



パソコンを使用した授業を視察する委員

と学校とのオンライン授業となるが、各家庭においては、インターネット環境に差異があるところである。また、町の取り組みとして全町への光回線ケーブル工事を行つてゐるところではあるが、まだ市街地とへき地とで通信速度に差が生じている。通信格差解消のため早急な光回線の整備が待たれるが、各家庭におけるWi-Fi環境や回線使用料などの問題もあり、利用に際しては検討が必要と考える。

整備されたタブレットは、児童・生徒が教員からの伝達

と学校とのオンライン授業となるが、各家庭においては、インターネット環境に差異があるところである。また、町の取り組みとして全町への光回線ケーブル工事を行つてゐるところではあるが、まだ市街地とへき地とで通信速度に差が生じている。通信格差解消のため早急な光回線の整備が待たれるが、各家庭におけるWi-Fi環境や回線使用料などの問題もあり、利用に際しては検討が必要と考える。

整備されたタブレットは、児童・生徒が教員からの伝達

のソフトを利用して学力の向上に努めている。また、臨時休業などの非常時には「eラーニング」をクラウド上で使

用することが可能であるが、ネット環境がない家庭でも「eラーニング」が使用できるよう、タブレット上にデータをダウンロードして使用できるように対策がなされている。

ICTを駆使した授業が多くなることで、教職員の負担が大きくなると思われる。教職員を対象とした町内のICT研修会が開催されているようではあるが、スキルアップのためにも、各種講習会へ教職員の派遣を行うなど今後対策が必要と考える。

令和4年度予算に「へき地小学校保健室空調設備整備工事」として258万8千円が計上されました。

# 議会の動き

## 〈2月〉

- 2日 文教厚生常任委員会
- 8日 総務産業常任委員会
- 17日 北海道町村議會議長会理事会（TV会議）
- 24日 第2回臨時会・議会運営委員会  
総務産業常任委員会・文教厚生常任委員会
- 28日 とかち広域消防議会  
十勝圏複合事務組合議会（帯広市）

## 〈3月〉

- 7日 議会運営委員会
- 8日 第1回定例会・総務産業常任委員会
- 11日 議会運営委員会
- 15日 第1回定例会・議会運営委員会  
全員協議会
- 16日 第1回定例会・議会運営委員会  
予算審査特別委員会
- 17日 第1回定例会・議会運営委員会  
予算審査特別委員会
- 18日 第1回定例会・議会運営委員会  
予算審査特別委員会・総務産業常任委員会
- 22日 十勝町村議會議長会正副会長会議（足寄町）
- 24日 北海道町村議會議員公務災害補償等組合  
第2回臨時会（札幌市）

## 閉会中の所管事務調査

常任委員会は、閉会中も引き続き次の所管事務を調査研究します。調査研究の内容は、次号以降でお知らせする予定です。

### 総務産業常任委員会

- ①観光振興について
- ②上下水道について

### 文教厚生常任委員会

- ①特別養護老人ホームの今後のあり方について
- ②公衆浴場の管理運営について

### 広報広聴常任委員会

- ①議会広報紙の編集及び発行に関する事項
- ②議会広報・広聴の実施に関する事項
- ③議会広報・広聴の調査及び研究に関する事項
- ④足寄町議会ホームページによる広報に関するここと
- ⑤足寄町議会の放映による広報に関するここと

### 議会運営委員会

- ①議会運営について
- ②議長の諮問に関する事項について

## 第2回定例会の日程

第2回定例会は6月7日開会  
一般質問は16日からの予定です



## 足寄町議会中継のお知らせ

足寄町議会は、令和3年3月開催の第1回定例会から、YouTube（ユーチューブ）でのライブ中継を行っています。過去の動画も見ることができますので、一般質問や議案審議の様子などを詳しく知りたい方はこちらをご覧ください。

インターネットで「足寄町議会 ユーチューブ」を検索するか、足寄町ホームページの足寄町議会の画面から接続することができます。

そのためには社会経験が乏しい18歳、19歳が悪徳商法の被害に遭い、高額な負債を抱えて生活破綻に陥る事を防ぐための「消費者教育」が大事です。そして、学校や職場で家庭で「賢明な消費者」として悪徳商法を見抜く力を養うことです。（高道委員記）

法律上の成人になつたからと言って、消費者として十分な判断力が備わるわけではありません。

成年年齢が20歳から18歳に引き下げられ、民法改正が本年4月1日に施行されました。成年人が18歳になる事で、親の同意がなくても本人の意思のみで様々な契約行為が可能となる中、消費トラブルが増加することが懸念されます。

今まででは仮に商品やサービスについて、理解不足や一時的な感情で購入を決めて、

父母や親権者の同意がなければ、その契約を取り消す民法の未成年者取消権という防波堤で守られていました。

今まででは仮に商品やサービスについて、理解不足や一時的な感情で購入を決めて、

